

## 早稲田大学 人間科学部 英語 講評

### 〔総合分析〕

出題形式	マーク式
試験時間	90分
特徴・その他	don't と短縮形にできるところを、わざと do not と not を離して書いてあったり、というところが全てヒントになっている。学校や一般の英語参考書のカリキュラムに載っていないので教わるチャンスが少ないが、その理論を知っていれば長文もさほど複雑ではない。早稲田予備校での授業にはそれが含まれている。

### 〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
[ I ]	内容把握 短文による選択	小問 8 題で全 25 問。 比較的読みやすい文と複雑な文があり、また、選択肢が易しい問いも難しい問いも混在するので、1つの文に固執して時間を無駄にしないようにする必要あり。 大きくは、類義語の問いと、文の流れから要旨を把握する問いに分かれる。	やや難
[ II ]	空欄補充	前置詞、副詞を入れる問題。 イディオム（暗記物）も、複数の意味があるものは、覚えていなさそうな方の出題が多い。	やや難
[ III ]	正誤問題	過去問や一般の問題集にもみられる典型的な正誤問題が多い。正誤問題作成のマニュアル通りの問題なので、見覚えがあるような印象を持つ受験生は日頃の努力のご褒美です。	やや易

### 〔総合コメント〕

<p>早稲田大学を含め、難関といわれる大学の問題の特徴は、「これだけ覚える」とか「文は前から区切って読む」といったような“お手軽マニュアル”に頼っている人には狭き門だということである。</p> <p>英語を単なる単語の集まりとせず、論理的に学んできた人にとっては素直な問題が多いので、問題用紙を開いたとたんに、自分の受験勉強が正しかったか、的外れだったかを知ることになるだろう。</p>
---